

## 1 発掘調査経歴書

○ 経歴は直近から記述し、指定用紙の範囲内で記述して下さい。

内容欄には担当・従事のどちらか一方に○を付けて下さい。

○ 元号の表記は平成はH・令和はRで記入して下さい。

時期・期間				場所（都道府県・市町村）			遺跡名	内容
R 元年	7 月	～	R 2 年	3 月	9 月	東京 都 中央 区	A 遺跡	担当 ○ 従事
H 24 年	4 月	～	H 26 年	3 月	24 月	埼玉 県 熊谷 市	B 遺跡	○ 担当 従事
年	月	～	年	月	ケ月			
年	月	～	年	月	ケ月			

## 記入上の注意事項

1. 発掘調査と資料整理・発掘調査報告書執筆に分けて記入すること。
2. 元号は、平成＝H、令和＝Rで標記すること。
3. 遺跡の所在地は、調査・整理当時の行政区分で記入すること。
4. 内容は、具体的に記入すること。
5. 書き方等で不明・疑問等有る場合は、当団に連絡し確認して下さい。
6. 記入する経歴がない場合は、右端欄に「なし」を入力して提出してください。

## 2 資料整理・発掘調査報告書執筆経歴書

○ 経歴は直近から記述し、指定用紙の範囲内で記述して下さい。

内容欄には具体的な業務を記入

○ 元号の表記は平成はH・令和はRで記入して下さい。

時期・期間				場所（都道府県・市町村）			遺跡名	内容
R 元年	7 月	～	R 2 年	3 月	9 月	東京 都 中央 区	A 遺跡	遺物実測・採拓
H 24 年	4 月	～	H 26 年	3 月	24 月	埼玉 県 熊谷 市	B 遺跡	デジタルトレース
年	月	～	年	月	ケ月			
年	月	～	年	月	ケ月			

## 3 著述経歴書

○ 元号の表記は平成はH・令和はRで記入して下さい。

発行年月	書名・論文名・報告書名	内容	発行機関
R 元年 11 月	●●文化の展開	●●文化の概念について・●●文化の特徴と▲▽文化との相違点について・●●文化の時期区分・●●文化の終焉	
H 27 年 12 月	○○○遺跡発掘調査報告書	縄文時代中期後半の集落跡・編集及び執筆 竪穴建物40基・土坑350基等・土器・石器等800点掲載	○○県□□市教育委員会
H 26 年 10 月	◇◇◇研究 第▽▼号 ◎◎◎遺物に関する一考察	出土遺跡の分布状況・◎◎◎遺物の形態分類（形状・大きさ・重さ）・共伴遺物と時期・まとめ	□◇◆研究会